

2023年12月14日
SCSK株式会社

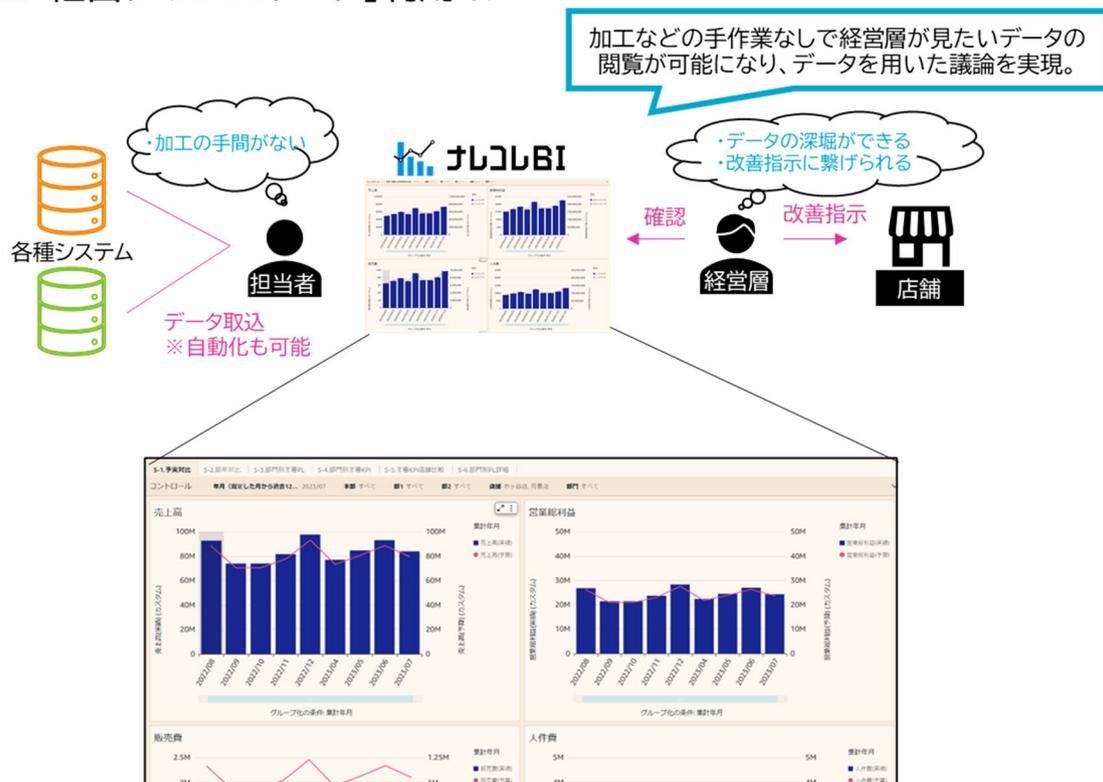
ナレコレ BI に経営層向け画面として「経営ダッシュボード」を機能追加 ～小売業のデータドリブン経営を支援～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、小売業のデータドリブン経営を支援する「ナレコレ BI」に「経営ダッシュボード」機能を追加し、提供を開始いたしました。「経営ダッシュボード」機能は、店舗データから経営層が必要な情報を、直接作成することで迅速にチェーン全体の状況を把握できます。現場と経営層が同じデータに基づき、店舗における問題点の原因を究明することで、現場と経営層との意思統一を図るとともに、店舗の売上増や業務改善を支援します。

経営ダッシュボードの特長

ナレコレBIはSCSKの小売業様向けのシステム開発で培った BI 活用のナレッジを集約したソリューションで、BI 画面をはじめとしたデータ分析に必要な機能を搭載しており、「早く」「安価に」「効率よく」利用を開始することができます。このたび、「これまで以上にデータを深掘りした分析をもとに迅速な意思決定をしたい」という経営層からのご要望があり、単一画面の中に販管費や人件費、PL 情報を集約した「経営ダッシュボード」機能を追加しました。本機能をご活用いただくことでより早く、効率的にチェーン全体の状況把握が可能となります。

■「経営ダッシュボード」利用イメージ



経営層が分析に必要なデータを1つの画面上で完結！

(1)経営ダッシュボード

グラフやハイライトにより、売上や人件費などの管理指標を視覚的に把握することで、瞬時に判断できます。問題と判断したポイントをデータで深掘りすることで、効果性の高い対策の立案を支援します。

また、経営者が日次、月次、週次などの単位で、確認することも可能です。

(2)店舗単位での管理強化

店舗データを元にした損益管理により、店舗ごとでの問題点の早期発見や対応策の検討を支援します。

店舗別の主要な KPI や PL を用いて、年度ごと・月ごとの数値比較や店舗間での指標比較などが可能です。

ナレコレ BI の概要と活用イメージ

ナレコレ BI はさまざまな種類の「データ」から具体的な「アクション」へと繋げることができる「ナレッジを BI に搭載」したソリューションで、データに基づいた客観的な意思決定を可能にします。「BI 活用業務フロー」「BI 設計(データモデル)」「BI 画面標準」の 3 つの機能で、ビジネスに貢献できるナレッジをご提供します。

ナレコレ BI の高い効果を実感することで、組織内での BI 利用が定着、更なる業務の見える化を推進するという好循環のサイクルを生み、ビジネス全体への大きな貢献をもたらします。

ナレコレ BI は、BI の活用方法がわからない、BI の利用が浸透しないという課題を抱えたお客様においても、このような好循環を作り出し、組織の継続的な成長と進化を促進することを支援します。

製品URL:<https://www.scsk.jp/sp/narekorebi/>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

産業事業グループ

流通システム事業本部 流通システム第一部

E-mail: narekorebi-sales@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。